

熊楠ワークス

/ C / O / N / T / E / N / T / S /

特集

vol
19

第3回南方熊楠ゼミナール記念講演 「熊楠の生き方に学ぶ」

紀伊長島町教育長 小倉肇さん

2~12面

ゼミナール シンポジウム

「熊楠のメッセージ」考える 1面

第12回南方熊楠賞の授賞者決定

本賞に 櫻井徳太郎さん(民俗学者) 13面

特別賞に 神坂次郎さん(作家)

大切なもの

昨年11月の「第3回・南方熊楠ゼミナール」で、紙芝居「山の神とおこぜ姫」を上演させてもらったら、紙芝居が終わった後で、紙に描かれた“おこぜ姫と狼”を触りにきた子どもがいた。紙芝居の舞台を閉めていた時にも扉を開けにきた子がいて、まるで紙芝居の粹の中におこぜや狼がナマでいるかのようで、面白かった。

子どもたちは、ヨーロッパの昔話に登場する「恐い」オオカミの方をよく知っているので、おこぜ姫に一目惚れして悩んでいるオオカミに、より親しみを感じたのかも知れない。

今回わたしは、もっともっと日本の民話を子どもたちに語らねば…、と思った次第。そんな時、南方熊楠の著作集は大変アリガタイ存在。学校で学ぶこと以外に、こんな交流が、大切なものを育てていくのでしょ、きっと。

絵・エッセイ／

松下千恵(わかやま絵本の会代表)

絵は絵本「南方熊楠」から

